

令和6年度 がん対策実施状況

	対策の視点	令和6年度の実施状況	担当課	令和7年度予定・課題
●がんの 予防と啓 発	○受動喫煙 対策の推進 ○生涯を通じ た生活習慣 病予防の推 進	1 乳幼児、子育て世代への受動喫煙対策の普及啓発 母子保健事業 ア 母子健康手帳交付：妊婦の全数面談で個別に指導、喫煙者に「サードハンド・スモークから子どもを守ろう！」、 「禁煙サポートかしわ」を配付 イ 8か月児相談：サード・スモークの啓発資料を案内文に同封し対象者全員に送付 ウ 幼児健診：喫煙者に「サードハンド・スモークから子どもを守ろう！」「禁煙サポートかしわ」を配付	母子保健課(地域 保健課から令和7 年度より変更) 健康増進課	継続的に実施
		2 小中高等学校での普及啓発 ・「サードハンド・スモークから子どもたちを守ろう！」について、小学2年生の保護者に電子配信 ・小中高等学校へ「世界禁煙デー」の啓発(5月31日)、及び受動喫煙防止に向けた啓発物品の配布(柏ノースモツ子新聞) ・小中高等学校における体育科・保健体育科での「がん教育」授業の実施 ・小中高等学校へ「外部講師を活用したがん教育事業」、「がん教育授業の実践研修会への参加」「令和5年度における千葉県のがん教育 の実施状況調査の結果」等について送付 ・柏市医師会作成の動画等の活用を周知 ・小中学校での出張講座を薬剤師会が実施(R6年度は小学校19校、中学校2校、高校1校で実施) 薬物乱用および喫煙による健康影響、依存症についての薬剤師から講座を実施 令和元年より、対象者を子どもを取り巻く大人にも拡大し周知を開始	健康増進課 指導課	出張講座の周知について継続的に実施
		3 イベント等における啓発活動 ・がん征圧月間、健康増進月間啓発イベント：柏市図書館にて、がん検診、食生活・口腔ケアなども含めた生活習慣病予防、ウォーキング、受動 喫煙防止に関する展示及びチラシの設置(9月4日～10月2日) ・がん受診率50%キャンペーン月間にあわせて、沼南支所でがん予防、健康増進関連の啓発展示及びチラシの設置 (10月2日～10月31日で実施) ・柏市70周年イベント「プレイバック柏(柏そごう跡地)」にて、骨密度検査、ベジチェックを行った方に対し、がん検診に関する啓発物を配布(5月18 日～5月20日で実施) ・ららぽーと柏の葉主催「健康応援フェア」にて、がん検診に関する啓発物を配布(9月9日～9月23日)	健康増進課	図書館展示は継続的に実施するとともに、各種イベント に参加し、がん啓発を実施する。
		4 禁煙サポート ・禁煙外来、禁煙支援薬局マップを作成し、周知啓発を実施	健康増進課	
		5 受動喫煙防止対策 ・市民からの受動喫煙についての意見・相談・通報に対して、店舗等に申し入れを実施(64件)。必要時、現地立入や指導を実施 ・「おいでよ！カシワニ禁煙ステッカー事業」の実施(登録数109) ・飲食店・事業所等での受動喫煙防止に向けた、健康増進法改正内容についての周知啓発	健康増進課	受動喫煙防止ポスターによる啓発強化 問い合わせの多い「喫煙室の設置について」飲食店向 けののチラシを作成し、保健所から配布予定
		6 生活習慣病予防に関する啓発活動 ・母子保健事業における望ましい生活習慣やバランスのとれた食事、歯と口腔の健康づくりに関する啓発 ・柏市民健康づくり推進員と連携した地域ぐるみの健康づくり活動 (生活習慣病予防に関する各種講座、ウォーキング等の運動に関する講座、食育活動、文化祭等での展示) ・依頼の健康教育における啓発 生活習慣病等一般的な健康教育にがん啓発も含め実施(R6は10回)	母子保健課 健康増進課	継続的に実施 依頼の健康教育についての周知強化
		7 保健事業を通した啓発 (1) 柏市特定健康診査の受診者 ア 「かしわ健康づくり通信」を活用した情報提供 イ 健康診査会場において、喫煙者等への禁煙やアルコール多飲者への減酒・適正飲酒に関するパンフレットを配布 ウ 特定保健指導、健康づくり相談の場を活用した情報提供、生活習慣病対策等の個別指導を実施 エ 実施通知にがん予防の知識等の情報を掲載 (2) がん検診受診者 ア がん検診会場での情報提供 イ がん検診通知物を通じた情報提供 (3) その他、保健事業における啓発、情報提供	健康増進課	柏市国民健康保険 保健事業実施 計画(データヘルス計画)に基づく各種取組の実施 継続的に実施

	対策の視点	令和6年度取組状況	担当課	令和7年度予定・課題
		8 広報活動等における啓発 ・若い女性の子宮頸がん検診受診勧奨のため、美容室、大学にリーフレット配架依頼 ・子宮頸がんワクチン接種勧奨のため、中高校生へリーフレット電子配信、大学へのリーフレット配架及び柏駅前デジタルサイネージへの掲載 ・柏市を拠点とする女子バスケットチーム「ENEOSサンフラワーズ」のショートメッセージ動画配信	健康増進課	継続的に実施
		9 柏地域・職域連携推進事業を通じた啓発 ・柏地域・職域連携推進協議会を令和6年6月25日、令和7年7月27日に開催 ・メール配信による事業所への健康情報の発信【がん検診(5月)/生活習慣病(8月)】 ・メール配信事業所は71事業所(令和7年3月31日時点) ・啓発リーフレット「柏市で働く人のための健康増進ガイド」の配付(関係機関、事業所等)	健康増進課	継続的に実施
●検診・早期発見	○がん検診の必要性及び正しい受け方についての効果的な啓発 ○がん検診の受診率向上のための効果的な取り組み ○質の高いがん検診の実施 ○検診から診療への確実な橋渡し	1 がん検診の情報提供及び啓発の強化 (1) 個別通知の実施 ・柏市がん検診に登録している市民へ、検診開始時期に合わせ実施通知及び検診票等を郵送 ・柏市がん検診に登録がない新規対象者(20歳女性、40歳男女、50歳男女(国保)、65歳男女)の市民及び令和5年9月以降に転入した20歳女性、40歳男女の市民にがん検診登録勧奨通知を郵送 ・年度途中の未受診者のうち、登録が取り消しとなることが予測される対象者又は令和6年度新規登録者へ再勧奨通知を郵送 (2) 市民への広報 ・柏市オフィシャルウェブサイトにて、がん検診の説明を掲載 ・電子申請による登録申し込みをPR ・公共施設、市内医療機関、薬局、商業施設、市内幼稚園、保育園等にごがん検診に関するポスターを掲示、登録はがきを設置 ・特定健診・75歳以上の健診の受診券にごがん検診登録の案内を掲載 ・保健所X(旧Twitter)の発信	健康増進課 ※詳細は別添06 柏市がん検診事業の見直しについて	継続的に実施 ※詳細は別添「柏市がん検診事業の見直しについて」参照
		2 受診率向上のための取組 (1) 子宮頸がん検診及び大腸がん検診を大型商業施設で実施 (2) 特定健康診査・75歳以上の健康診査・プレ特定健康診査と結核・肺がん検診及び大腸がん検診、肝炎ウイルス検査の同日実施	健康増進課	継続的に実施 ・特定健康診査(集団)と乳がん、子宮がん、大腸がん、肺がん検診を同日に行うレディース健診を開始。(午前11時～午後1時) ・若年層を対象に行うプレ特定健康診査は年齢を18歳から39歳に拡大。(令和7年度開始)
		3 精度管理 (1) 柏市医師会の胃内視鏡検診運営委員会(胃がん検診)において検討、勉強会の開催 (2) 市町村におけるがん検診チェックリストによる事業評価(県に報告し、全国的な精度管理・事業評価の資料として活用) (3) 検診機関におけるがん検診チェックリストによる事業評価(全国的な精度管理・事業評価の資料として活用)	健康増進課	継続的に実施
●治療から緩和ケアまで	○緩和ケアを含むがん医療に関する医療機関等の連携強化 ○市民に分かりやすいがんに関する相談支援・情報提供の体制の整備 ○在宅医療の提供体制整備に向けた検討(在宅療養を担う地域資源の支援・在宅療養を担う関係者間の連携の強化等)	1 相談支援・情報提供体制の整備 ・「柏市民のためのがんサポートハンドブック(第13版)」を作成 ・医療機関、地域包括支援センター、ハローワーク、市役所窓口等を通じ「柏市民のためのがんサポートハンドブック」を患者や家族に配布(計4,500部) ・「柏市民のためのがんサポートハンドブック」を含めたがん対策のHPを整備 ・「がん情報ギフト」情報コーナーの設置(中央図書館・こども図書館) R6新規	健康政策課	がんサポートハンドブックの改版 より患者目線で必要な情報や、時代にあった情報を載せて刷新できるよう、関係部署・関係機関や有識者の方々と積極的に連携していく
		2 小児慢性特定疾病医療支援事業 受給者数(令和7年3月末現在) 382人 内:悪性新生物 32人 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業:新規申請及び継続申請時に自立支援員による面接の実施	母子保健課	申請受付や申請時面接を継続的に実施。 必要に応じて市民に対して情報提供や啓発を行う。
		3 在宅医療の体制整備 柏地域医療連携センターを拠点として以下の取り組みを実施。 (1) 医療や介護に関する相談・情報提供 - ア 在宅医療や介護に関する相談 523件(柏地域医療連携センター199件、地域包括支援センター12ヶ所:214件 (R6年度の実績が確定しないため、R5年度の数字を記入)) (2) 地域医療や介護に関する市民向けの啓発・勉強会開催 - ア かしわ元気塾:実施4回/年実施 第1回目は会場参加で実施 第2回目以降は会場参加及びアーカイブ配信にて実施(会場参加273名、オンライン視聴回数1165回) - イ 在宅医療情報誌わがや発行(23号:9月1日、24号:3月1日)ポスティング、市内小中学校個別配付、スポーツジム、ショッピングセンター、市内病院、診療所、薬局、駅等へ設置 - ウ 市民向け啓発実施状況 出前講座実施回数4回 延べ参加者数144人 在宅医療啓発動画活用、在宅医療ブックレット(小冊子)活用		継続的に実施 参加及びアーカイブ配信にて年4回開催予定 継続的に実施 参加にて実施予定

	対策の視点	令和6年度の実施状況	担当課	令和7年度予定・課題
		(3) 在宅医療が必要な方への調整・支援 在宅主治医がいない場合には、医師会と相談の上、医師の調整・支援を実施。 (4) 医療・介護の連携強化 医療・介護に関する多職種の連携を強化するための取組を実施 ア 在宅医療・介護多職種連携協議会の開催(7月・10月・3月オンライン会議(一部参集)) イ 多職種連携・情報共有システム部会の開催(6月・9月・2月参集会議) ・情報共有システムの利用促進と症例を通じた多職種連携ルールの検討 ウ 啓発・広報部会の開催(6月・9月・1月参集会議) 市民、医療・介護関係機関と協働し、在宅医療・介護にかかる市民啓発について検討 エ 研修部会の開催(5月・2月参集会議) 在宅医療にかかる多職種連携の推進のための研修(顔の見える関係会議)及び意思決定支援に関するeラーニング教材を活用して実施。 オ 在宅医療推進のための多職種連携研修会:10月～12月参集研修eラーニングと参集研修を組み合わせる方法で開催 在宅医療の推進および多職種連携の促進を目的とし、在宅医療に従事する医師・多職種の拡大を図る。 カ 顔の見える関係会議:参集にて実施 全体会議7月,93名参加 圏域会議11月(北部、中央、南部、東部),210名参加 アドバンス会議1月,74名参加 キ 地域ケア個別会議の開催 6月14日光ヶ丘地域包括支援センター、7月17日北柏第2地域包括支援センター、10月8日柏南部地域包括支援センターにおいてがん等を患う事例の個別支援を検討	地域医療推進課 地域包括支援課	継続的に実施 会議内容等により参集とオンラインを併用して実施 令和7年度は休止 参集にて実施予定 継続的に実施
		4 介護保険 要介護認定について(末期がん) ・すみやかに在宅等で介護保険サービスが利用できるよう認定調査日を調整 ・認定審査資料が整い次第、直近の審査会にて、審査を実施 令和6年4月1日～令和7年3月31日までの認定件数:15,148件 ※コロナ対応職権延長3,387件除く(内 末期がん対応:447件(3.0%)) 30日以内の認定:3,545件(23.4%)(内 末期がん対応:284件(がん末期案件の63.5%))	高齢者支援課	要介護・要支援認定申請日の当日もしくは翌営業日に認定調査を実施するよう調整 (平成22年4月30日厚労省事務連絡より)
		5 がん患者ウィッグ等購入費等助成事業 ・助成件数:令和6年度-247人(延べ件数261件) ・広報かしわ、HP、柏駅・柏の葉キャンパス駅前デジタルサイネージ、SNS等による周知 ・市内26医療機関、市外76医療機関、市内121薬局に対し、制度案内チラシ・ポスター送付	健康政策課	周知を継続的に実施 広報かしわ6月号・9月号で再周知
		6 若年がん患者在宅療養支援事業 ・利用登録者数:令和4年度-5人、令和5年度-4人、令和6年度-5人	健康政策課	継続的に実施
●地域相互支援	○家族・一般市民へのがんに関する啓発 ○在宅介護に携わるボランティアの育成・支援 ○患者同士の自助グループ支援	1 市民への啓発・情報提供 (1)【再掲】小中学校での普及啓発(柏市ノースモッ子作戦出張講座) (2)【再掲】母子保健事業でのタバコ対策に関する普及啓発 (3)【再掲】イベント等におけるがん予防啓発活動 (4)【再掲】生活習慣病予防の視点での啓発活動 (5)【再掲】健診事業を通じた啓発 (6)【再掲】広報等における啓発 (7)【再掲】健康診査情報の提供及び啓発の強化 (8)【再掲】相談体制・情報提供体制の整備 2 患者家族の自助グループの集まりを支援 会場:柏地域医療連携センター ・グリーンケア(1回/月):39名 ・がん哲学外来(1回/月):26名		【再掲】各項目継続実施 データヘルス計画に基づく各種取組の実施 がん検診受診勧奨通知 柏市オフィシャルサイト等 柏市民のためのがんサポートハンドブック配付
●その他		1 6月議会にてがん対策の取組を報告 2 庁内関係課、関係機関との連携 ・柏市がん対策検討会議を5月に開催 3 がん治療と就労の両立支援 ・「両立支援カード」を保健所内(難病相談窓口)で配架	健康政策課	継続して実施 継続して実施 継続して実施